

仙台高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	芸術
科目基礎情報						
科目番号	0011		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	名取キャンパス一般科目		対象学年	1		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	高校音楽 I 改訂版 Music View（教育出版）					
担当教員	横山 留美					
到達目標						
1. 歌唱・器楽演奏によって音楽を表現する喜びを体験し、そのスキルを身につける。 2. 音楽の構造を歴史的観点から理解する。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	音楽の表現スキルが十分に身につけている		音楽の表現スキルがほぼ身につけている		音楽の表現スキルが十分に身につけていない	
評価項目2	音楽の構造を歴史的観点から十分に理解している		音楽の構造を歴史的観点からほぼ理解している		音楽の構造を歴史的観点から理解していない	
評価項目3	提出物 8 0 %以上		提出物 6 0 %以上		提出物 6 0 %未満	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	学生の音楽経験を生かしながら、加えて楽理の知識を学習する。また未経験の楽器に触れることで、音楽の成り立ちを理解する。西洋音楽の歴史から私達が享受している音楽との関係に注意を向け、日本音楽にも興味が持てるように普段は自ら聴くことのない邦楽の鑑賞を通じて、遺伝子の中に組み込まれているであろう音楽を探求する。多様な現代にあつて、好みの音楽も多種であるが、学生相互の人間性を大切に出来るようなやり取りの出来る音楽の使い方を学習することも目的とする。					
授業の進め方・方法	歌唱・器楽・鑑賞において様々な音楽に触れ、生涯にわたり音楽に親しむための豊かな音楽観を育成し、一般的な教養を身につける。 歌唱については、一年を通して様々な言語の歌と親しみ、楽しく表現できるようにする。 ・事前学習（予習）：毎回の授業前までに、授業で行う内容と意義を考えて整理しておくこと ・事後学習（復習）：毎回の授業後に、授業で学んだことを振り返り、今後へ活かす方法を考えること。					
注意点						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	音楽歴等アンケート 仙台高専校歌		校歌を歌い、学生になった喜びと自覚を味わえる。 楽譜の基本的な見方がわかる。	
		2週	校歌、歌曲「のぼら」		ドイツ語の歌曲を聴き、文学との結びつきを理解し味わえる。シューベルトの「のぼら」を歌える。	
		3週	「のぼら」発表、 中世・ルネッサンス・バロック鑑賞		暗譜で歌える。 それぞれの時代背景、文化、芸術様式を理解する。	
		4週	ハンドベル		ベルの仕組み、取り扱い方、楽譜の読み方を理解する。 演奏の基礎技術を習得する。	
		5週	ハンドベル 古典派楽曲鑑賞		協力して演奏することの難しさと楽しさを理解する。 Mozart、Beethovenを聴いて、歴史的背景、様式を理解する。	
		6週	ハンドベル発表 「O sole mio」		演奏の完成度、他者の演奏を聴くマナーを高める。 イタリア語に親しむ。	
		7週	「O sole mio」 映画鑑賞（前）		イタリア語で歌える。カンツォーネを理解する。 ミュージカルを味わえる。	
		8週	「O sole mio」 映画鑑賞（後）		イタリア語に親しみ、気候風土をイメージして歌える。	
	2ndQ	9週	「O sole mio」発表	ロマン派鑑賞	完成度を高め、暗譜で歌える。 ショパンを中心に、時代背景、様式の変遷を理解する。	
		10週	ハンドベル		余裕をもって楽譜の読み方、練習に臨める。	
		11週	ハンドベル		他者とのアンサンブルを楽しめる。	
		12週	ハンドベル発表 ボディーパーカッション		完成度を高める。身体を楽器にしてリズムを楽しめる。	
		13週	ボディーパーカッション 「Imagine」		身体を楽器にしてリズムのアンサンブルを楽しめる。 英語のポピュラー音楽の発音に親しみ、歌える。	
		14週	ボディーパーカッション 「Imagine」		練習を楽しみ、コミュニケーションを楽しめる。 完成度を高める。	
		15週	「Imagine」発表 日本伝統芸能鑑賞 「平家物語」を題材に		完成度を高め、緊張感と集中を持ち本番に臨める。 能、人形浄瑠璃、歌舞伎それぞれの歴史的背景、様式の相違に興味を持ち、理解する。	

		16週	まとめ	芸術作品を通して、世界の多様な民族の文化、様式の相違を理解する			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	30	0	10	0	0	100
基礎的能力	60	30	0	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0